

2020年7月6日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド〈愛称:ゼロ・コンタクト〉」を設定

～コロナ後の世界で求められる「非接触」を実現するビジネスに投資～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、このたび、「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド〈愛称:ゼロ・コンタクト〉」を7月31日に設定、運用を開始する予定です。当ファンドは、今後の成長が期待される、ゼロ・コンタクト・ビジネス(非接触型ビジネス)関連企業の株式を中心に投資を行う追加型投資信託です。SMBC日興証券株式会社が7月20日から取り扱いを開始します。

「デジタル・トランスフォーメーション」は、「ITの浸透により、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変革させる」という、2004年にスウェーデンで提唱された概念です。新型コロナウイルス感染拡大前から、人々の生活や仕事の様々な場面でデジタル化による変革は進行していましたが、新型コロナウイルスの世界的流行は、旧来の制度や慣習を大きく見直すきっかけとなりました。人の移動、集合、対面による交流がリスクとなり、ビジネスや医療だけではなく、レジャー、エンターテインメントなど様々な分野でも、「デジタル・トランスフォーメーション」が加速しています。新型コロナウイルスの収束後も、ウイルスへの感染防止のために人との接触を避ける「非接触」ニーズは更に高まり、人々の生活や企業活動を維持するために、今後もデジタル化された付加価値の高い技術やサービスが成長領域として振興することが予想されます。

◆世界の景色を一変させた新型コロナウイルスの流行◆



「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド〈愛称:ゼロ・コンタクト〉」は、こうしたコロナ禍で高まった「非接触」を実現する革新的な技術やサービスを創出し、今後飛躍的な成長が期待される企業の株式に投資します。具体的には、オンラインショッピングやデリバリー、ストリーミングメディア、非接触型電子決済サービス、オンライン学習や診療を可能とするプラットフォームを提供する企業などに注目しています。

また、「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド〈愛称:ゼロ・コンタクト〉」の個別銘柄の選定においては、「破壊的イノベーション」にフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシーの調査力を活用し、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクが、ポートフォリオを構築します。

日興アセットは今後も、質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以上

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

●購入時手数料： 購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて得た額です。

購入時手数料率は申込代金／金額に応じて下記のように変わります。

分配金受取りコース：申込代金に応じます。（申込代金は購入価額に購入口数を乗じて得た額です。）

分配金再投資コース：申込金額に応じます。（申込金額は申込代金に購入時手数料（税込）を加えて得た額です。）

1億円未満・・・・・・・・・・ 3.3%（税抜 3.0%）

1億円以上 5億円未満・・・・・・・・ 1.65%（税抜 1.5%）

5億円以上 10億円未満・・・・・・・・ 0.825%（税抜 0.75%）

10億円以上・・・・・・・・・・ 0.55%（税抜 0.5%）

※ 別に定める場合はこの限りではありません。

●換金手数料： ありません。

●信託財産留保額： ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

●運用管理費用（信託報酬）： ファンドの日々の純資産総額に対し年率 1.7985%（税抜 1.635%）

●その他の費用・手数料： 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

●当資料は、投資者の皆様には「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド（愛称：ゼロ・コンタクト）」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

●当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約22.1兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2020年3月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会